

大人のチカラ

12

～子どもたちの未来のために～

子どもの感性を育てる④

見直そう 基礎的な生活体験

早 寝早起き朝「ごはん」など基本的生活習慣が改めてクローズアップされています。子どもの成長には勉強や運動だけでなく、普段の生活の中での経験が大切。子どもの「生活体験」を増やせるよう、現在の生活を見直しましょう。

便利すぎる環境が 自立の機会奪う

生活リズムが大人と同じ夜型になり、「早寝早起き」や「朝食を食べる」など基本的な生活習慣が身につい

ていない子どもが増えていきます。香川県公立幼稚園長会長の山崎真理子さんは「保護者の都合もあるでしょうが、一度身についた習慣はなかなか崩せないもの。早寝早起きや朝食をしっか

り食べることは学力・体力に影響することも分かっています。小さいうちから親子で朝型の生活リズムを整えましょう」と呼び掛けます。

さらに、「おむつが取れるのが遅い、うまくはしが使えない、一人で着替えができない」という状況も増えていきます」と指摘。「おむつがなかなか取れない原因の一つに不快感が少ない紙おむつの性能の良さもあるのでは。また、センサー反応の自動蛇口しか知らない子どももいて、便利すぎる環境が子どもの自立や経験の機会を奪っている可能性があります」と警鐘を鳴らします。

家庭でも 子どもに役割を

家庭での子どもの役割はどうでしょう。「昔なら、子どもにも家庭での役割があり、家族の一員としていろいろな手伝いを任されていた。最近では、子どもを大切にするあまり、家でも「お客さん」のように扱って何もさせないことが多いのでは。「テガをしてはいけない」「時間がかかる」などといった理由でお手伝いする機会を奪っていませんか？ 子どもはい

つでもやりたい気持ちを持っていきます。手伝いをする事で人の役に立つことの喜びや使命感を感じます。洗濯物をたたむ、食器を並べる、玄関を掃くなど、その子に合った役割を与えてほしい」と山崎さん。毎日の生活の中での小さな体験の積み重ねが大切だとメッセージを送ります。

